


題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
「きになる木」～松ぼっくりでろう～	高	美術 Ⅱグループ (美術)	松下透

<ねらい>

- ・力を調節しながら素材に触れたり、道具を扱ったりすることができる。
- ・手元を見て集中して作業を続けることができる。
- ・色の塗れていない所を、自分で見つけて塗ることができる。
- ・教師とやりとりしながら、見通しをもって作業することができる。



学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・前回の振り返り</li> <li>・作業準備</li> <li>・作業開始</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望を募り、指名された1人が前に出て号令をかける。</li> <li>・作品を見て、前回取り組んだ箇所を見て確認していく。</li> <li>・机に新聞紙を敷いて、ビニール手袋をずる。</li> <li>・筆、絵の具、絵の具皿、置き台、松ぼっくりを配る。</li> <li>・各自、松ぼっくりに色を塗っていく。</li> <li>・塗り終わった松ぼっくりは、教師に見せてテーブル上に提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に合わせて支援を行う。</li> <li>・生徒の見やすい位置に作品を動かしていく。</li> <li>・できるところは自分でするように促す。</li> <li>・生徒に合わせて補助グリップ使用する。</li> <li>・始めに「絵の具がなくなった」「できた」など、必要な時は近くの教師に知らせるように伝えておく。</li> <li>・塗れていない所に気づかせるなど、必要な支援をする。</li> <li>・終わったら、自分の席で待つように言葉かけをして促す。</li> <li>・生徒の見やすい位置に作品を動かしていく。</li> <li>・生徒に合わせて支援を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付け</li> <li>・振り返り</li> <li>・あいさつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆と絵の具皿を流して洗い、ビニール手袋と新聞紙をごみ箱に捨てる。</li> <li>・みんなで塗り終わった松ぼっくりを見て確認する。</li> <li>・希望を募り、指名された1人が前に出て号令をかける。</li> </ul>	

<内容（工夫点など）>

・取り組み始めた時は、置き台を使うことで作業に集中しやすい状況がみられた。また生徒に合わせて筆に補助グリップを巻いて太くして持ちやすくした。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

・季節によって色を変えて木に変化を出し、継続的に取り組んだことで、生徒が見通しを持って作業することができた。集中して取り組めるようになり、自分から松ぼっくりを動かして塗れていない所を探すなど意欲的に取り組めた。教師の支援が減り、見守る時間が増えた。